



# まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和8年5月29日

豊玉中学校だより No. 36

【E-mail】 matsushita.yoko2@nerima-ky.ed.jp

【URL】 <https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

新緑の季節を迎え、学校生活には落ち着きと活気がともに感じられるようになってきました。4月から取り組んできた学級づくりや生活習慣の定着が進み、生徒は授業、学級・学年活動、行事に主体的に向き合っています。話し合い活動では、互いの意見を丁寧に聴き合い、学びを深めようとする姿が日常的に見られるようになりました。授業では、単元の見通しをもって学習に臨む姿が増え、板書やノートの整理にも成長が見られます。授業の終わりに取り組むPDCAシートや振り返りでは、理解や課題を確かめて次の学習へつなげています。「先見の時間」では、先を見通して行動する習慣を育て、日々の目標に向けて取り組む力を高めています。今年度からはチャイムを廃止し、時間を自覚して行動する生活が始まりました。開始当初は不安もありましたが、現在では生徒一人一人が時計を確認し、授業準備や移動を落ち着いて行う姿が定着しつつあります。こうした生活の積み重ねが、学習や行事に向かう姿勢を支えています。

明日は、いよいよ運動会を迎えます。生徒たちは、実行委員会を中心に、計画委員会の活動や一人一役の取組を積み重ねながら、自分たちの行事を自分たちの力で形にしてきました。縦割り応援では、1～3年生が一つのチームとして声を合わせ、上級生が下級生を自然に支えながら一体感をつくり出しています。応援の中心に立つ3年生は、動きや声の出し方を丁寧に示し、全体を確実にまとめています。演技種目では、3年生が中心となって構成や動きを考え、下級生に丁寧に伝えながら全体を上げてきました。練習では、動きの確認や改善点をその都度話し合い、次の時間に生かす姿が見られ、学年を越えて学び合う雰囲気や育っています。当日は、安全を最優先に、これまでの努力が十分に発揮されるよう、教職員一同で運営にあたります。一人一人が仲間と力を合わせ、最後までやり抜く経験を通して、達成感と自信を得られる一日となることを願っています。保護者・地域の皆様には、生徒の成長を温かく見守っていただければ幸いです。

気温の上昇や疲労の蓄積により、体調を崩しやすい時期でもあります。学校としては、健康観察の徹底や水分補給の声かけを続けるとともに、休み時間や放課後の過ごし方についても丁寧に見守り、生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を進めてまいります。6月からは前期の折り返しに入り、定期考査をはじめ、学習面・生活面の節目となる取組が続きます。これまでの取組を振り返り、次の目標に向けて歩みを進める大切な時期です。ご家庭・地域の皆様と連携し、生徒一人一人の成長を積み重ねていけるよう努めてまいります。

## ◆令和8年5月11日 全校朝礼 副校長講話より◆

今日は、慶野校長先生の代わりに皆さんにお話する機会をいただいたので、運動会のことを考えてみました。今月30日土曜日に実施する豊玉中学校の運動会は第80回を迎えます。どんな一日になるのか、今からとても楽しみです。

ところで、皆さんは想像できますか。この地域に住む多くの大人が、かつて中学生として、豊玉中学校の運動会で、いま皆さんの右手にある校庭で、皆さんと同じように、様々な競技に全力を注ぎ、学級や学年で思い出や記録を作り上げてきたことを。皆さんの保護者の方々の中にもそういう方がいらっしゃるはずですが、そんなふうに思いを馳せることは、日頃、学校生活を送る中ではなかなかない気がしますが、是非、今イメージしてみてください。

皆さんと同じような姿、格好の中学生たち… それは、今はもう大人になっている先輩たちなのですが、皆さんと同じように運動会で全力で取り組んでいる様子。イメージできましたか。

勝利した喜びや負けた悔しさを感じ、「感情のコントロール」や「ストレスへの自分なりの対処の仕方」を学んだ人もいたことでしょう。また、競争を通して得られた友情が、大人になった今でも続いているという人もいるはずですが、これまでの79回分の運動会で、今、大人になっている人たちだって、

一回りも二回りも成長してきたのです。

今、皆さんは運動会に向けて、話し合い、実際に練習し、毎日取り組んでいます。学年を超えて、ハカやフラッグの練習に励んでいます。また、学級のメンバーの知恵と力を結集して、学年種目や全員リレーに臨もうとしているところだと思えます。まとめ役の人たちは、大勢の仲間をどうリードしていくか苦勞することでしょう。上級生である皆さんも、自分たちの取組を下の学年の仲間たちに背中ですす苦勞を感じているのではないのでしょうか。

ぜひ、それをしっかりと受け止めて、悩んだり相談したり、精一杯もがいてください。運動会までの一日一日で、皆さんが体験することは、今の学年、今の学級のメンバーだからこそ経験できるものであり、その瞬間、瞬間にあなたが感じる思いは、どれもフレッシュな、今しか感じることでできないものです。だから、それをまるごと受け止め、可能であれば楽しんでほしいと思います。

メジャーリーグのロサンゼルス・ドジャースで活躍している大谷翔平選手は、一流のスポーツマンとして、私たちに参考になる言葉をたくさん生み出しています。知っているものも多いかもしれませんが、運動会までの日々で、どの言葉があなたにヒットし、あなたの気持ちを動かすでしょうか。いくつか読み上げてみます。出会うタイミングで心に響く言葉は違うものです。今の自分に必要な言葉に出会えたら儲けもの、と思って聞いてみてください。

- －「先入観は可能を不可能にする」
- －「イラっときたら負け」
- －「失敗は成功の通過点」
- －「悔しい経験がないと、嬉しい経験もない」
- －「無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです。」
- －「プラスの言葉を使うと味方が増える」（前向きな言葉を使っていれば協力者が増えていく）

皆さん一人一人の「全力の第80回運動会」。楽しみにしています。

## ☆☆ 運動会に向けて ☆☆

生徒主体の運動会に向けて、実行委員を中心に練習に取り組んできました。5月27日(水)午前中に予行練習を、そして翌28日(木)の午後には、豊中フラッグ、豊中ハカ、ルパン三世、縦割り応援団による応援のお披露目を実施しました。「伝統」と「今年から始める新しい取組」がミックスされた、豊玉中学校らしさ全開の運動会になること必至です。ぜひ、生徒の活躍する姿を応援しにご来校ください。

～5月28日(木)午後～ お披露目の様子より

